

町では、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」の取り組みを進めています。町や地域が行うこの取り組みについて、毎月お伝えしていきます。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



国見の魅力を発信しよう! ~「くにみ♡案内人養成講座」を終了しました~

昨年11月に開講した「くにみ案内人養成講座」は1月20日をもって全3回の講座が終了しました。

「くにみ案内人養成講座」は、町のさまざまな魅力を再発見し、町に住む方や訪れる方々に、自分なりの方法で情報を発信したり、案内する「くにみ案内人」になることを目指し、平成29年度から行っている講座です。

第1回目は「伝えることを学ぶ」、第2回目は「伝え方を学ぶ」をテーマに、町の歴史や産業について現地を視察し、自分が伝えたいテーマを決め、講師の指導のもと、伝える技術や手段を学びました。

第3回目は第1回・第2回の講座をふまえ、「伝え方を考える」をテーマに、受講者が自分の伝えたいことについて案内シナリオを作成し、道の駅国見あつかしの郷に仮設した観光案内ブースで、案内のシミュレーションを行いました。



▲案内シナリオを考えます

受講者は、自分の伝えたいことが相手に伝わっているか互いに確認しながら、より良い案内を目指して取り組んでいました。



▲自分で考えたシナリオで案内に挑戦

今年度の講座には、町内外からさまざまな分野で活躍されている21人が参加し、そのうち2回以上受講した10人に町公認のくにみ案内人バッジが交付されます。それぞれの方法でくにみの魅力を伝える案内人として、これからの活躍が期待されます。

30年度のバッジは石蔵がモチーフ!



▲太田町長から修了証が授与されました



【最優秀賞】毛利周一 『祭り気分上々』



吉田光江 『秋祭り』



馬場正幸 『デモンストレーション』



氏家勝治 『暴れる山車』



渡辺克也 『わっしょい!! その1』

第4回鹿島神社例大祭フォトコンテスト表彰式が12月23日、町文化財センターあつかし歴史館で行われました。今年度は町内外から21作品の応募があり、国見町役場で12月13日に行われた審査会において、最優秀賞1点

と優秀賞4点が選ばれました。表彰式では、最優秀賞を受賞した毛利周一さんはじめ受賞者のみなさんに、国見伝統文化保存会の黒田加津臣会長から表彰状が手渡されました。なお、入賞作品は次のとおりです(敬称略)。



最優秀賞を受賞した毛利さん(右)

祭りの活気を渾身の一枚に
第4回鹿島神社例大祭フォトコンテスト表彰式

歴史まちづくりインフォメーション

平成30年度福島県歴史資料館収蔵資料展『新公開史料展』 国見ゆかりの資料が展示されています!

福島県歴史資料館で行われている『新公開史料展』にて、旧伊達郡森山村(現国見町)ゆかりの資料が展示されています。ぜひご覧ください。

- 展示期間** 3月24日(日)まで
- 開館時間** 午前8時30分から午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 会場** 福島県歴史資料館展示室(とうほう・みんなの文化センター内) 福島市春日町5-54
- 休館日** 2月25日(日)、3月4日(日)
- 展示解説会** 2月16日(日)、3月16日(日) ※各回とも午後1時から50分程度



◀展示されている収蔵資料▶

伊達郡森山村新畑検地帳
元禄13年(1700)8月

江戸時代に、森山村の領主が村内の畑を「検地」(測量調査)し、等級や面積を記した台帳です。



◀[森山村絵図]
明治2年(1869)9月

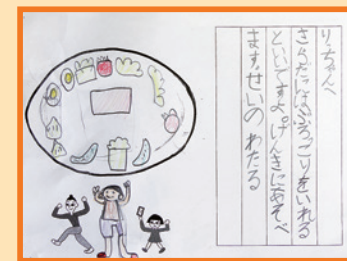
明治2年の森山村の様子を描いた絵図です。村内の田畑や屋敷地、道筋などが色分けで表現されています。

▲〔証状〕金山金井阪三十六騎裔孫
文政5年(1822)2月
名門新田氏の家筋である岩松徳純が、森山村の佐久間市郎右衛門に与えた証書です。

▲〔陰陽家可相守〕掟
安政3年(1856年)11月18日
安倍清明の後裔である土御門家が、森山村の佐久間桂治郎に与えた陰陽道の掟です。



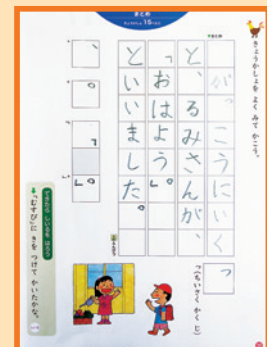
横濱 泰芽



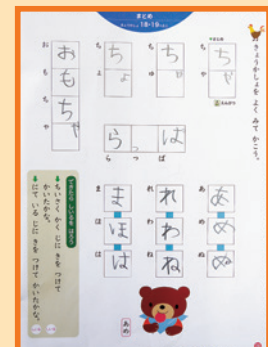
制野 巨留



野田 一龍



佐藤 祐夢



大沼 紅寧



長谷川 琴南

国見小学校
(1年生)
~こくごのおべんきょう~

小さな天才たち